

車両用部品の一例

○本社所在地：東京都大田区
 ○事業概要：トラック、乗用車、フォークリフト、建設機械などの車両用部品を中心にプレスから溶接、機械加工、塗装、組立まで一貫生産しており、金型・治具及び省力化設備も内製化している
 ○常時使用する従業員：190名
 （2025年3月時点）
 ○現在の売上高：41億円
 （2025年3月期）
 ○法人番号：5010801011371
 ○Web： <https://www.k-maruhide.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
小林 隆志

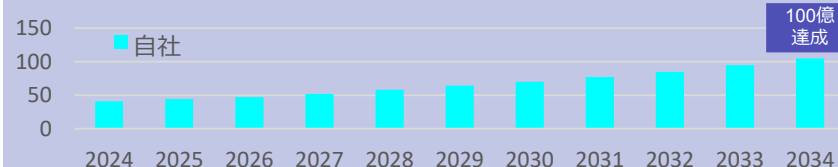
技術革新と新たな挑戦で持続可能な未来に貢献する

現在は世界の至るところで、地球温暖化対策として脱炭素社会を目指す大変革時代を迎えています。石油が主燃料の自動車業界も大きな転換期にあり、当社も持続可能な社会「SDGs」に対応すべく、DXやロボットによる自動化、労働環境の整備などに注力しています。また、新たな分野への挑戦も視野に入れていきます。私たちは、丸秀なら何かやってくれそうと思ってもらえるような、面白みや価値を感じていただける『記憶に残る企業』を目指しています。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2034年度の売上高達成に向け、中量生産事業の生産能力倍増、DX展開による企業体質の強化で年率10%程度の成長を目指す。



課題

- 中量生産事業の生産能力（特に塗装工程）の拡大
- DX展開による省力化・作業効率化の推進
- 工程間・工場間のマテリアルハンドのコスト低減
- 人材の確保と技術承継などによる能力向上
- 安全で快適に働きやすい職場環境の整備
- 海外グループ企業との連携強化

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- 設備投資による中量生産事業の生産ライン拡大
- 付加価値の高い塗装ラインの内製化
- 省人化や作業効率化を遂行する各種設備の導入
- 社内研修・外部研修の充実
- SDGs、カーボンニュートラルへの取り組み
- 「PT.MARUHIDE INDONESIA」との協業による輸出入の活性化

実施体制

- 社長直轄の事業推進チームを結成し社内の各分野のエキスパートである部門長クラスを抜擢
- 目標達成に向けた取組みをQCDE活動として実施
- 海外グループ企業である「PT.MARUHIDE INDONESIA」とのプロジェクトチームの立ち上げ

※QCDE活動とは、品質、価格、納期の3要素に「Environment（環境）」を加えたグループ活動